

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	人材誘導事業	会計	一般会計	事業No.	368	施策順No.	12-006
		事業種別	政策・重点	予算科目	5-1-1-10-5		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	産業振興支援課		
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	18	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①UIターン希望者 ②高校卒業生のうち進学者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	UIターン希望者及び新規卒者(大学・短大・専門学校、高校卒業生)が飯田下伊那地域で就業・定住する。							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		①登録UIターン希望者数(結ターンキャリアデザイン室取扱):人	256	236	149	138	250		
		②高校卒業生うち進学者数:人	1125	1183	1163	1180	1207		
		新規卒者数(大学・短大・専門学校、高校卒業生)の地元就職者数:人	610	588	578	600	613	600	A
		UIターン者数(結ターンキャリアデザイン室取扱):人	74	80	47	50	60	65	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	リーマンショック以来厳しい雇用情勢を反映して、UIターンにも慎重になり、相談件数の減少傾向にあるが、子育て世代をターゲットに据えており、着実なフォローにより22年度のUIターン者数の目標数値を達成することが出来た。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	各産業や地域にとって必要な人材を飯田下伊那地域に誘導し、定着するまでの支援を行なう。 [手段] 1 人材誘導窓口「結いターン キャリアデザイン室」の運営: UIターン相談の実施 2 プロモーション戦略: ブログ、パンフレット、時季を絞ったキャンペーンなどによる人材誘導 3 インキュベーション戦略: ハローワーク、職業安定協会等関係機関と協力した、就業・定住推進		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 インターネットを活用した人材誘導PR 結いターンブログリニューアルによる情報発信力の強化 2 結いターンキャリアデザイン室の運営におけるUIターン事業の推進 (1)UIターン相談会の開催 ア 市内での合同企業面接会でUIターンブースによる相談の実施 イ お盆と正月のUIターン相談会実施 (2)産業人材UIターン支援事業 ア 企業ガイドブック作成、企業紹介動画作成、飯田市紹介動画作成 イ PRパンフ・PR小冊子の更新・配布 (3)教育機関と連携したUIターン推進 ア 首都圏の大学、飯田下伊那の高校及び短大等就職課担当者との打合せ、情報交換 イ 高校生囲い込みの推進	1 HP訪問者数 2 UIターン相談者数	36,054人 138人
23年度実施計画	1 インターネットを活用した人材誘導PR 結いターンブログによる情報発信 2 結いターンキャリアデザイン室の運営におけるUIターン事業の推進 (1)UIターン相談会の開催 ア 市内での合同企業面接会でUIターンブースによる相談の実施 イ お盆と正月のUIターン相談会実施 (2)教育機関と連携したUIターン推進 ア 首都圏の大学、飯田下伊那の高校及び短大等就職課担当者との打合せ、情報交換 イ 高校生囲い込みの推進 (3)実績者のフォローアップ ア アンケートの実施 イ UIターン実績者と連携した人材誘導を強化するネットワークの構築		

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項 (県)元気づくり支援金 2,181千円 (そ)企業ガイドブック作成負担金 570千円 (そ)ふるさと税 167千円	
	一般財源	県支出金	2,415	2,181			
		起債					
		その他	600	737			
	計(A)	3,441	3,131	4,235			
臨時職員等所要時間							
人件費計(B)			0				
トータルコスト A+B	6,456	6,049	4,235				

4 事業に対する市民や議会の意見

経験者の確保とともに技術者及び事務系管理者などノウハウを持った退職者などの人材バンク制度を創設し、人的な地域資源の活用を図られたい。(議会)
人材誘導と若者の定住促進を図るため、住宅提供や市税等の優遇策を講ずる必要がある。(議会)地元企業の経営理念が学生に伝わるよう大学・高校との連携を強化し、待機の姿勢ではなく攻めのアプローチを図られたい。UIターン者に対する積極的なフォローアップにより、課題解決を図られたい。(議会)成果指標は、飯伊ではなく飯田市に着眼した指標でなければ評価に値しない。捉え方に工夫が必要である。(市民)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内の従業員、地域内の企業、人材が	施策の成果指標又はムツス指標	新規就業者数(学卒者)
		①事業活動を改善する ②企業立地、起業・就職できる		UIターン者数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	UIターン希望者や新規卒業生と地域産業界とをマッチングさせる仕組みを整えることにより、雇用面において地域産業振興に寄与できた。		
	後期に向けた課題	専門的な知識、経験、技術を持ったUIターン希望者や新規卒業生が充分力を発揮出来るような雇用の場が充分あるとはいえない。一方で企業が求める理工系の開発・設計の技術者が地元企業には目を向けないとの声も多くある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	プロモーション戦略(チラシ、ガイドブック、情報誌、ブログ等)によりUIターン希望者や新規卒業生と企業双方に情報発信することにより情報不足によるミスマッチの解消を図る。適切な時期、会場での就職面接会等の開催により多くの就業機会を設ける。特に首都圏の学生等を対象として就職面接会と私立理工系大学就職指導担当者からなる大学就職指導研究会第4分科会と地元企業との情報交換会を実施した。		
	後期に向けた課題	効果的な情報発信によりさらに効果をあげることが出来る。首都圏の私立理工系大学との連携強化を図ること。さらには地元短大・専門学校との連携・強化により外部の大学とも連携して共同事業を実施する。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	UIターン推進と人材育成を図るためには一定の事業費が必要である。しかし、具体的には以下の削減努力はしている。飯田市が蓄積した既存の情報誌を活用する。特定のターゲットに絞らず、あらゆる場面で利用可能な汎用性の高い情報媒体を作成・活用する。		
	後期に向けた課題	適切な情報管理により、最新の情報を確実に発信することにより無駄を省く方向で進めていく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	人材育成・人材誘導事業については多様な団体の連携協力が不可欠であるが、事業が軌道に乗るためには飯田市が積極的に関与する必要がある。事業内容によっては必要に応じて受益者負担を求めている。		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①ハローワーク飯田、飯田職業安定協会等の関係者及び各大学、短大、専門学校、高校等の進路指導担当者等、それぞれの立場や役割に応じて人材育成に努め、就職活動に向けての働きかけをしてきた。又企業の採用担当者も企業として自らの業績の向上に資するように人材を獲得するように採用活動をすすめてきた。 ②人材誘導に対する要望があり、行政が支援する必要がある。		
	後期に向けた課題	地域の経済自立度向上のため若い人材を地域へ誘導し、人材サイクルを確立するためには行政が主体的に関わる必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	UIターンの相談者数も累積で1,000人を越え(H18事業開始より1,003件)実績者も300人を越える(H18事業開始より304人)事業も一定の成果を上げている。特に子育て世代をターゲットにしている点では効果があったといえる。		
	後期に向けた課題	特に地域間で人材獲得の競争となっている研究者、技術者等核となる人材が不足している。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------